

ミュージアムセミナー④ 《ブックリスト》

「桃山時代の絵画―狩野派・長谷川等伯ほか―」

出光美術館「躍動と回帰―桃山の美術」展より

2015年8月28日（金）19：00～20：30

講師：廣海伸彦氏（出光美術館学芸員）

このセミナーに関連する本・展覧会に関する本をご紹介します。
出版年の新しいものから順に並べてあります。

《「躍動と回帰―桃山の美術」展図録》

タイトル	著者・編者	出版社	出版年月・ISBN など	請求記号 資料番号
日本の美・発見 X 躍動と回帰 桃山の美術	出光美術館 編集	出光美術館	2015.8 展覧会図録	703.8 図録 1080204363

《狩野派や長谷川等伯についての資料》

タイトル	著者・編者	出版社	出版年月・ISBN など	請求記号 資料番号
辻惟雄集 3 障屏画と狩野派	辻惟雄 著	岩波書店	2013.10 978-4-00-028653-4	702.1 1000285062
内容紹介	縄文土器からマンガまで、日本美術の豊かな表現の本質を見抜き、その世界を提示してきた辻惟雄の研究を集成。第3巻は、障屏画の全体像をとらえ、南禅寺障壁画、聚楽第図屏風、狩野派の誕生と興隆等を論じる。			
長谷川等伯と狩野派	出光美術館 編集	出光美術館	2011.10 展覧会図録	703.8 図録 1080203258 A706.9/イテ ※1 1101767703
教科書に出てくる日本の画家 1 近世の画家 雪舟、葛飾北斎、俵屋宗達ほか	工藤美也子 著	汐文社	2012.12 978-4-8113-8947-9	72 ※2 1101983219 72 ※3 1480038478
内容紹介	教科書に登場する日本の画家とその代表作品を紹介。1では、雪舟、葛飾北斎、俵屋宗達など近世の画家を取り上げ、彼らのプロフィールや絵の鑑賞ポイントなどを解説する。絵画の所蔵館も収録。			
もっと知りたい狩野永徳と京狩野	成澤勝嗣 著	東京美術	2012.3 978-4-8087-0886-3	721.4/カ ※1 1102005525
内容紹介	「大画」という画期的な装飾方式を開発し、狩野派一門を統率した狩野永徳の生涯と作品を紹介。永徳の嫡子・光信が行なった画風改革を中心とする桃山時代後半期の狩野派の動向、京狩野の歴代に及ぶ営為も解説する。			
もっと知りたい長谷川等伯 生涯と作品	黒田泰三 著	東京美術	2010.2 978-4-8087-0823-8	721.3 1080030149 721.3 ※1 1101046686 721 ※2 106342678
内容紹介	日本絵画の最高傑作とも評され、人気もある「松林図屏風」などを描いた長谷川等伯。ステレオ・タイプに語られることの多い等伯を、従来の等伯感の陰であまり見えていなかった新たな側面から見る。			

別冊太陽 日本のこころ 166 長谷川等伯 桃山画壇の変革者 没後四〇〇年記念	—	平凡社	2010.2 978-4-582-92166-3	721.3 1080161985 721.3 ※1 1100004165
内容紹介	北陸の地方絵師から、京画壇の中心へ、大狩野派に1人挑んだ画聖・長谷川等伯。日本の心を映す障壁画で、近世絵画の時代を開いたその生涯と数々の作品を詳しく紹介する。			
狩野派の三百年	東京都江戸東京 博物館 編集	東京都歴史 文化財団	1998.7 展覧会図録	721.4/エト/E ※1 1100418845
水墨画の巨匠 第3巻 等伯	—	講談社	1994.5 4-06-253923-3	721.3 1100419066

《近世の絵画・水墨画・障屏画、その鑑賞法についての資料》

タイトル	著者・編者	出版社	出版年月・ISBN	請求記号 資料番号
屏風の世界 その変遷と展開	出光美術館 編集	出光美術館	2010.6 展覧会図録	703.8 図録 1080111360
水墨画の輝き 雪舟・等伯から鉄斎まで	出光美術館 編集	出光美術館	2009.4 展覧会図録	703.8 図録 1080111287
京都美術鑑賞入門	布施英利 著	筑摩書房	2009.4 978-4-480-68808-8	Y702 130213200
内容紹介	日本美術といえば、仏像、絵画、建築、庭園、茶。京都という「美術館」を名所編、分野編、人物編に分けて案内し、日本美術のエッセンスを紹介。金閣寺や龍安寺の「美の構造」もわかります。			
古寺巡礼京都 29 智積院	—	淡交社	2009.1 978-4-473-03499-1	185.9 105903546
内容紹介	日本人のこころのふるさと、名刹を訪ねる古寺巡礼の旅へ。第29巻は智積院を案内する。宝物などをカラー写真で紹介し、智積院化主からの現代へのメッセージや、美術家・横尾忠則のエッセイを収録する。			
すぐわかる水墨画の見かた	島尾新 監修	東京美術	2005.2 4-8087-0752-7	721.3 105492615
内容紹介	水墨画を見る人も描く人も、ムズカシイ話は抜きにして、ひたすら絵を見つめてみよう。すると、筆1本・墨1色でササッと描いたとってもシンプルな絵の中に奥の深い世界が見えてくる! 水墨画を見る・感じるための入門書。			
水墨画と語らう	島尾新 著	新潮社	1997.11 4-10-601868-3	721.3/シマ ※1 1100668712 721 ※2 1280029669 721 ※4 104045042
内容紹介	画家たちが墨と水と筆で画面に留めた森羅万象。さまざまな表情をもつ水墨画58点を取り上げ、そこに表現された世界の秘密を、現代的な視点から解き明かす。掲載した水墨画を所蔵する美術館のガイドを付す。			
屏風絵の景色を歩く	榊原悟 著	新潮社	1997.5 4-10-601869-1	721.08/サカ ※1 1100666864
内容紹介	豪壮な桃山時代の息吹を受けて、屏風という大画面に展開された、日本の四季・祭礼と風俗、西洋への好奇心。その華やぐ世界を、全点オールカラーで紹介。美術館で出会う様々な名品をわかりやすく解説。			

タイトル	著者・編者	出版社	出版年月・ISBN	請求記号 資料番号
水墨画の鑑賞基礎知識	渡邊明義 編著	至文堂	1997.2 4-7843-0159-3	721 ※4 103871604
内容紹介	千年以上の歴史をもつ東洋独特の画法である水墨画。絵画史の中では、水墨画は山水画が中心ととらえられがちである。本書では水墨画の歴史を様式史的に眺め、技術・技法の面などから水墨画の全貌に迫る。			
日本の美術 No.338 水墨画-能阿弥から狩野派へ	—	至文堂	1994.7 —	702.1 ※1 1101271532
日本の美術 No.336 水墨画-大徳寺派と蛇足	—	至文堂	1994.5 —	702.1 ※1 1101271516
日本美術全集 第15巻 永徳と障屏画 桃山の絵画・工芸 2	—	講談社	1991.2 4-06-196415-1	0708.7 ※1 1100414505
日本絵画と歳時 景物画史論	武田恒夫 著	ぺりかん社	1990.4 —	721 ※1 1100667524
内容紹介	日本絵画は中国絵画から受けとめたものを、どのように発展させていったのか。和様の歳時に注目し、中世から近世にかけての諸画面の展開を、「景物画」という「やまと絵」とは別の概念を用いて一貫してたどる。			
日本美術全集 17	—	学研	1978 4-05-002929-4	708 ※2 110293172
内容紹介	桃山の障屏画;永徳/等伯/友松			
「かぶき」の時代 近世初期風俗画の世界	守屋毅 著	角川書店	1976 —	721.8 閉架 1080204819

※1は日比谷図書文化館、※2は四番町図書館、※3は昌平まちかど図書館、※4は神田まちかど図書館の所蔵それ以外は千代田図書館所蔵の資料です。

作成:千代田図書館 <2015年9月更新>